

1987年10月

府会だより

第160号

発行

日本共産党・革新共同府会議員団
京都市上京区下立売通新町西入 京都府議会内
直通(451)8621、または府庁(451)8111
内線2728、2729

発行責任者 石川 鑑一



▲9月7日、ブルーリッジ入港反対舞鶴集会にて

米第七艦隊旗艦「ブルーリッジ」が九月七日から十日まで舞鶴港に入港する。第七艦隊の各艦船が核弾道ミサイル・トマホーク等大量の核兵器が実戦配備されていることは米国国防省等の

版『防衛白書』では「核兵器の使用を含む事態から通常戦力による侵略事態まで」備えると称して、核戦争の事態

は、日本海における日本の「小規模特別訓練」として、海上自衛隊護衛艦隊の最新鋭護衛艦「しらね」とともに海上自衛隊舞鶴地方隊の艦艇も加わって各種の訓練を行うためのものである。

京都府政は、軍備拡大を推し進める政府・自民党に追随し、これまで四回の「ブルーリッジ」の入港を認めてきた。これは、平和を望む府民の要求に反し、今日の核兵器廃絶、核戦争阻止と核兵器の大削減を求める国際世論の高まりに逆行するものであり絶対に認められない。

わが議員団は、荒巻知事が核兵器廃絶、核戦争阻止という世界と府民の真剣な願いに応え、米第七艦隊旗艦「ブルーリッジ」の舞鶴入港を拒否し、今後のような危険な核積載と核攻撃を

米第七艦隊旗艦「ブルーリッジ」の舞鶴入港に反対する申し入れ

発表で明らかである。

先月二十八日発表された一九八七年版『防衛白書』では「核兵器の使用を含む事態から通常戦力による侵略事態まで」備えると称して、核戦争の事態

にも対応できる自衛隊づくりをつらだしており、米核戦略のもとでの新たな軍拡宣言ともいべき内容となっている。

今回の「ブルーリッジ」の舞鶴入港は、日本海における日本の「小規模特別訓練」として、海上自衛隊護衛艦隊の最新鋭護衛艦「しらね」とともに海上自衛隊舞鶴地方隊の艦艇も加わって各種の訓練を行うためのものである。

京都府政は、軍備拡大を推し進める政府・自民党に追随し、これまで四回の「ブルーリッジ」の入港を認めてきた。これは、平和を望む府民の要求に反し、今日の核兵器廃絶、核戦争阻止と核兵器の大削減を求める国際世論の高まりに逆行するものであり絶対に認められない。

わが議員団は、荒巻知事が核兵器廃絶、核戦争阻止という世界と府民の真剣な願いに応え、米第七艦隊旗艦「ブルーリッジ」の舞鶴入港を拒否し、今後のような危険な核積載と核攻撃を

・米第七艦隊旗艦「ブルーリッジ」の舞鶴入港に反対する申し入れ
・知事の「台風によるサトウキビ被害は天皇警備にプラス発言に抗議する(团长談話)」
・故岸信介内閣・自民党合同葬儀の当日における「弔意表明」通知の撤回を求める申し入れ

じ・京都府フィルムライブラリーの保存・活用のためハイビジョンシステムの導入を求める要望書
・医療機関におけるB型肝炎感染防止に関する申し入れ
・社会福祉施設の防災対策の強化についての申し入れ
・KBS京都「政治を語る」(太田・野村)…7
・府議会日誌(7/17~9/24)…8

指示する艦船の入港を永久に認めないよう非核京都府宣言を行うことを強く求めるものである。

以上

一九八七年九月二日
京都府知事 荒巻慎一 殿
日本共産党・革新共同
京都府議会議員団